


# 往還ノート

1学期1号(233号) 2019年4月


**放送大学** 広島学習センター  
福山サテライトスペース

## 一緒に「精読」しませんか

広島学習センター客員教授 今林 修

いつの頃からでしょうか、学校での英語の授業で「精読」をしなくなったのは、私が学部生だった頃(1980年代)に、「日本人は、英語は読めるけれど、聞き取れないし、話せない。」ということをよく耳にしました。こんなことあり得るのだろうか、と率直に思いました。

昭和から平成になってすぐ(1989年)、学校教育における外国語の学習指導要領の改訂に伴い、コミュニケーションが重視され、それまでの構文・文法・訳読式の授業からオーラル・コミュニケーションの授業への移行が求められました。また、21世紀を迎える直前(1999年)の学習指導要領の改訂では、「特に聞くこと及び話すことの言語活動に重点をおいて指導すること。」(中学校)、「中学校における音声によるコミュニケーション能力を重視した指導を踏まえ、聞くこと及び話すことの活動を多く取り入れながら、読むこと及び書くことを含めた四つの領域の言語活動を総合的、有機的に関連させて指導するものとする。」(高等学校)、とあるように「聞くこと」、「話すこと」への指導が強く促されました。今日の学校教育では、かつて「読解」、「文法」、「構文」に偏っていた授業から、「四つの領域の言語活動を総合的、有機的に関連させて指導するものとする。」と学習指導要領では明記されているにもかかわらず、「話せること」、「聞き取れること」に偏り、「読むこと」、「書くこと」の指導が、疎かになっているのではないのでしょうか。



私は、正しく正確に英語を読むこと、つまり「精読」が、いかに「話す」、「聞く」、「書く」の英語運用能力に「総合的、有機的に関連」するかを、放送大学での「公開特別講座」や「面接授業」において、文学テキストを使ってお話しさせてもらっています。「精読」=「訳読」とお考えの方がいらっしゃるかもしれませんが、決してそうではありません。「訳読」は



「精読」をするための一手段と考えていただくのがよいと思います。「読めるけれど、聞き取れない、話せない」というのはあり得ません。「聞き取れない、話せない」ひとは、決して「読むこと、書くこと」はできません。

四月から新しい元号になります。「精読」に興味・関心がおありの方は、心機一転、一緒に「精読」しませんか。

### 目次

客員教員寄稿 .....	1	事務室からのお知らせ .....	5
「所長室コーナー」から .....	2	行事の報告・お知らせ .....	9
退任・新任の挨拶(客員教員) .....	3	スケジュール(4月~7月) .....	10

## 発表するということ（４）

広島学習センター所長 山田 隆

通常の学術発表会においては、一件ごと発表が終了すると引き続いて質疑応答が行われる。発表者は、発表内容について質問やコメントを受けることになる。多くの場合、発表者は予想される質問を事前にリストアップし、その回答を準備しておく。質問にスラスラ答えると印象が非常に良くなる。とは言うものの、折角準備しても想定外の質問が出るのが常である。国内、国際学会を問わず、質問を受ける場合はその質問の「意」を的確に汲み取ることが肝要である。質問者によっては、質問のポイントとは関係のないことを延々と述べる場合がある。分かりにくい場合は、「あなたの質問は〇〇ということですね？」と確認したほうが良い。しかし、これをやりすぎると「嫌味」っぽくなり、会場の雰囲気が悪くなる。ハワイで開催された某国際学会の場で、米国人中堅研究者は、出された質問一つ一つに対して全て「今の質問は〇〇ということですが」と自分で繰り返し、その上で回答した。一見「スマート」な印象だが、回答内容に対するコメントさえも繰り返した後、さらに応じると、科学的な正確さを期すというより、質問相手に対する挑戦（けんかを売る）という空気になる。この場面ではそうはならなかったが、虫の居所によってはかなり激しい議論の応酬となり、チェアマンの介入によって場外延長戦となる場合もある（実際、何回か遭遇した）。良い議論のためには、発表者も質問者も表現や態度には注意する必要がある。発表者が会場にいるその道の第一人者に逆に質問して、問題解決のヒントを得たという事例もある。興味深い質疑場面にも出会った。UCLA で行われた講演会で、演者 J.H.博士は、講演後の質疑応答の際に質問を受けると、質問者に向かって歩み寄った。会場最後尾の席の質問に対しても、マイクを片手に答えながら近寄った。2～3回の応酬後には、とうとう質問者の面前にまで到達した。聴衆は相対峙した両者のやり取りに注目することになる。これは科学者同士の真摯な対応として好ましく思えた。これをまねて、日本の某学会での発表で試みたことがある。質問者に近寄ると、相手は非常に驚き動揺する表情が見て取れたので、途中で止めた。それこそ「けんかを売る」と思われたかもしれない。



後々、日本の学会ではめったに目にするこの情景について関係者の間で語り草となっていると聞いた。仏人ノーベル賞学者故 J. Monod 博士は、学会等において最前席に陣取り、各発表に対して質問攻めにしたという。発表者は万全の準備をして臨まねばならず、学会全体のレベルアップと緊張感維持にもつながったと思われる。一般に、日本の学術学会は短い発表時間に制約されて、十分な議論をする場とはなっていない。学生や若手研究者の発表経験を積む訓練の場としては機能しているかもしれないが。

過去の機関誌「往還ノート」へ掲載された所長室コーナーからの「発表するということ」(1)～(3)は、広島学習センター・福山サテライトスペースホームページ「機関誌紹介」に「往還ノート」のバックナンバー(過去1年分)を掲載しておりますので、そこから閲覧することができます。(2018年7月号(230号)、2018年10月号(231号)、2019年1月号(232号)に掲載しています。)

## 退任の挨拶(客員教員)



【生活と福祉コース】<sup>ふじむら まさひこ</sup>藤村 昌彦

3月末をもって、客員教授の任期が満了となります。5年間の在職中は公私にわたり皆様のご厚情に支えられ、公開特別講座や面接授業ができましたことに御礼申し上げます。講座に参加してくださった方々は人生の先輩が多く、教えていただくことがたくさんありました。皆様と一緒に健康についてあらためて考える機会を与えていただき感謝しております。末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、略儀ながら退任の挨拶とさせていただきます。



【心理と教育コース】<sup>さわだ ひでみ</sup>澤田 英三

広島学習センターでは、公開特別講座と卒業研究事前支援、そして卒業研究指導に携わってきました。講座では、発達心理学を中心にいくつかのテーマを扱いましたが、自分史をテーマとした時、実際に自分史を作成し始めた方々がおられました。そのみなさんの熱意に押されて、この一年は自主ゼミを展開してきました。卒業研究も、先輩・後輩を含めた複数の方々とゼミ形式で行ってきました。放送大学において、年齢を超えた仲間と議論し合う機会に恵まれたことが何よりの経験となりました。



【心理と教育コース】<sup>なかしま けんいちろう</sup>中島 健一郎

あつという間の5年間でしたが、学生さんの頑張りに感動する日々でした。「なぜ勉強をするのか、自分にとって学びとは何か」、それが明確になっているからこそものだと思います。特に、自分よりも年配の方々の頑張りに心を動かされました。「自分もいつまでも学ぶ気持ちを大事にしたい」と思いました。そのような機会を作ってくくださった放送大学に感謝の気持ちでいっぱいです。来年度からは形を変えて、関わらせていただきます。引き続き、よろしくお願いいたします。



【心理と教育コース】<sup>ふかざわ ひろあき</sup>深澤 広明

この4年半、多くの学びの出会いをいただきました。毎月の公開講座では、毎回のように出席される方々が「固定ファン」のようにいて、いつも質問やコメントをしていただき、自分の研究の弱点を学び直す機会になりました。卒業研究事前指導の機会は少なかったですが、専門とする学問の研究方法論を見直すよい機会になりました。そして、学習相談に来られた方々からは、職場で働きながらも先端的な学会発表に取り組む姿勢や職場の取り組みを学問的に省察することの大切さを教えられました。月二回の出勤でしたが、振り返ると思い出のシーンをたくさん与えていただきました。ありがとうございます。



【自然と環境コース】<sup>ほり かんじ</sup>堀 貫治

客員教員として3年間勤めさせていただきました。学習センター唯一の自然科学系コース担当に責務を感じていましたが、受講生の皆さんの飽くなき好奇心に煽られて、楽しく講義ができ意見交換ができたことに満足しています。講座では地球生物資源への理解を深めていただくこと、進歩の著しい生命科学分野の最新情報にも触れていただくことを念頭に努めたつもりですが、結果や如何に、の心境です。皆さまのご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



## 新任の挨拶(客員教員)



【生活と福祉コース】<sup>たにかわ よしひろ</sup>谷川 良博 (広島都市学園大学健康科学部・准教授)

2019年度から客員教員となりました。大学教員の前職は、作業療法士として25年間、認知症の方やそのご家族を支援してきました。今でも、地域での認知症予防活動や認知症にやさしい図書館などに取り組んでいます。認知症のリハビリテーションの普及にも努めています。このような活動で得た経験や知識をお伝えするとともに、その発展について皆さんと考えていきたいと思っています。



【心理と教育コース】<sup>あかい としゆき</sup>赤井 俊幸 (広島国際大学医療福祉学部・教授)

客員教員として新しく着任することとなりました、赤井と申します。仕事や家事などをこなしつつ勉学に励む学生も多いと伺っています。学びの難しさとともに楽しさも実感していただけるよう、心理学の発想と知見を紹介しながらお手伝いしたいと思います。聴知覚に関する実験心理学と心理生理学を専門としてきました。また、メディアと心理・行動の関係や、遺伝を取り巻く社会の動きにも関心があり、講座などを通してお話できればと考えています。



【心理と教育コース】<sup>こみやま みちお</sup>小宮山 道夫 (広島大学森戸国際高等教育学院・准教授)

専門は教育史学です。教育に関する事象を歴史学により明らかにする学問です。私は特に日本近代の教育史を研究しています。現在の教育・文化は、私が研究をしている明治期にほぼ原型が形作られました。現代教育の良いところ、悪いところの原点がこの時期にあったと言っても良いかも知れません。

教育は万人にとって必要かつ重要なもので、必ず経験もしてきました。このため誰もが関心を持ち、一家言もありうるものです。しかし史実やデータを根拠とせず教育を語る事は危険です。教育について、史実に基づきながら一緒に考えてみましょう。



【心理と教育コース】<sup>さかた しよご</sup>坂田 省吾 (広島大学大学院総合科学研究科・教授)

専門は学習心理学・生理心理学です。動物にいろいろな弁別学習をさせています。学習をしているときの脳の電気活動を測定しています。特に大脳辺縁系の海馬のはたらきに興味があり、海馬から測定される特異的な海馬θ波を指標として学習との関連を見ています。同じ親から生まれて同じ環境で育てられて同じ課題を同じ方法で行っても、個体によって学習は随分と異なり、多様性を示します。皆さんと一緒に楽しく学習をしていきたいと願っています。



【自然と環境コース】<sup>かとう のりひさ</sup>加藤 範久 (広島大学名誉教授)

私の研究分野は栄養学、食品科学であり、食品の価値を私たちの体を通して知るという学問分野です。この分野の面白いところは、身近な食生活の問題から、医学、生命科学、バイオテクノロジー、環境問題、社会問題、進化の問題など様々な分野と密接に関連していますので、次々と疑問やインスピレーションが湧くことです。対話を通じて学問の面白さを皆さんと共有できることを楽しみにしております。



●○大学からの送付物・事務室の掲示板を必ず確認しましょう○●

学習をすすめるうえで疑問に思うことは、「学生生活の栞」、「学習センター・サテライトスペース利用の手引き」や「往還ノート(当冊子)」を参考にしてください。

また、学習センター・サテライトスペース事務室の掲示板には、面接授業・公開特別講座等に関する、単位認定試験に関する、その他学習に関するお知らせ・連絡事項を掲示しています。面接授業・公開特別講座等の開講日には、実施教室の案内も掲示しています。来所された際には、掲示板を必ず確認しましょう。



広島学習センター学生控室前にはサークル掲示板もありますのでこちらもご覧ください。

●○通信指導について○●

**通信指導って何？**

放送授業または一部のオンライン授業について、各学期の途中に1回一定の範囲から出題された課題について、その答案を提出し、担当教員の添削指導を受けることです。

**送付時期は？**

問題は、印刷教材と一緒に送付します(一部科目は別に送付する場合があります)。

5月7日(火)までに届かない場合は、大学本部(☎043-276-5111)に連絡してください。

**提出方法は？**

答案の提出については、郵送によるものの他、システムWAKABAの「Web通信指導」もご利用できます(一部科目を除きます)。

提出方法	提出期間
郵送	5月21日(火)～ <b>6月4日(火)放送大学本部(千葉市美浜区若葉 2-11)必着</b>
Web通信指導 (インターネット)	5月14日(火)10:00～ <b>6月4日(火)17:00</b>

※同一科目の答案を、郵送とWeb通信指導両方で提出した場合は、Web通信指導で提出された方を評価対象とします。

※添削結果は、択一式科目の場合は**7月8日(月)**、記述式科目の場合は**7月19日(金)**までに送付されます。もし届かない場合は、大学本部(☎043-276-5111)に連絡してください。

※**通信指導の内容に関する質問は、提出期間締切後までお受けできません。**提出期間後に疑義等が生じた場合は、システムWAKABAの「授業サポート→質問箱」または「学生生活の栞」巻末に綴じてあります「質問票」を用いて質問してください。

通信指導を提出し忘れてしまうと、**単位認定試験の受験資格が得られません**ので、必ず期限までに提出しましょう。もし、提出し忘れてしまった場合は、次学期に学籍が継続している場合に限り、次学期に限り通信指導を受けることができます。

●○単位認定試験の受験センター変更について○●

単位認定試験は、原則として所属学習センターにおいて受験することになります。転勤・転居等で所属学習センター以外での受験を希望する場合は、期間内に受験センターの変更手続きを行ってください。

受験センターの変更手続きは、学生生活の葉巻末に綴じてあります「単位認定試験受験センター変更願」を大学本部学生課単位認定試験係まで郵送していただくか、インターネットのシステム WAKABA の「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験センター変更」から届出ができます。

提出方法	提出期間
郵送	4月1日(月)～ <b>5月24日(金)</b> 放送大学本部(千葉市美浜区若葉 2-11)必着
システム WAKABA (インターネット)	4月1日(月)9:00～ <b>5月31日(金)24:00</b>

☞学生生活の葉(大学院 P67~/教養学部 P72~)参照

●○学生証の交付について○●

2019年度4月入学生の方及び全科履修生で学生証の有効期限が切れた方は、広島学習センター・福山サテライトスペースの事務室窓口で、学生証をお渡ししています。

なお、顔写真が未登録の方は、学生証の発行ができません。インターネットのシステム WAKABA の「教務情報→学生カルテ」から写真登録するか、「学生生活の葉」巻末の「写真票」を本部学生課入学・履修係まで提出してください。

**受取り方法**

- ◆**窓口での受取り** 入学許可書または有効期限の切れた学生証をお持ちください。
- ◆**郵送での受取り** 下記の書類を同封して、広島学習センターまたは福山サテライトスペースまでお送りください。
  - ・郵送による学生証交付願(下記の用紙を切り取り、必要事項を記入してください)
  - ・新規・継続入学生は「入学許可書」及び「運転免許証等顔写真の入った証明書(継続入学生は旧学生証の同封でも可)」のコピー
  - ・在学生は、有効期限切れの学生証
  - ・返信用封筒(宛名を記入し 82 円切手を貼付したもの)

----- キリトリ -----

郵送による学生証交付願

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

学生の種類等 (○で囲んでください)

【学部】全科履修生・選科履修生・科目履修生・特別聴講学生 【大学院】修士全科生・修士選科生・修士科目生

◆来所が困難な理由◆

遠方のため・仕事等の都合・その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

●○面接授業の追加登録について(教養学部生対象)○●

**面接授業って何？**

面接授業とは、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業のことです。面接授業は8回(1時間30分×7回+45分×1回)で1科目(1単位)が構成されています。

**受講しなくてはならないの？**

全科履修生は卒業要件として面接授業又はオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。選科履修生・科目履修生は必修ではありませんが、自分の学習したい面接授業を受講できます。

**今学期開設面接授業  
まだ申込みはできるの？**

追加登録で申し込みが可能です。科目登録決定後に、空席の生じた科目について、追加登録の申し込みを受け付けます。

**追加登録の手続きはどうやってやるの？**

①空席発表で面接授業の空席数・追加登録期限を確認しましょう！

●空席のある面接授業科目の発表日：4月13日(土)12:00

空席状況は学習センター・サテライトスペース掲示、及び放送大学のホームページでお知らせします。  
4月19日(金)15:00よりシステム WAKABA からリアルタイムで空席状況が確認できます。

②追加登録申請をしましょう！

●受付期間：4月19日(金)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日

●受付最終日：7月21日(日) (8月開講科目もこの日までで受付終了します)

- \* 追加登録期間前に開講する科目は追加登録できません。
- \* 受付期限は原則開講日の1週間前です。一部例外もあります。
- \* 定員に達し次第、その科目の追加登録受付を締め切ります。



追加登録申請受付は、面接授業を開設する学習センター・サテライトスペースで行います。広島学習センター及び福山サテライトスペースでは、受付初日は、10:00 までに来所された方の追加登録申請科目を確認し、空席を上回る申請があった科目は、抽選により追加登録をする方を決定します。それ以降は、先着順に受け付けをします。

●○追加登録申請方法○●

**追加登録に必要なもの**

- 面接授業科目追加登録申請書
- 学生証  
(郵送の場合はコピーを申請書に貼付)
- 授業料  
(1科目：5,500円)
- 郵送の場合は返信用封筒  
(宛先明記・82円切手貼付)

**窓口**

- 左記「追加登録に必要なもの」を提出
- その場で科目登録決定通知を受け取り登録完了

**郵送**

- 左記「追加登録に必要なもの」を現金書留で学習センターに郵送
- 科目登録決定通知を学習センターから返送する

- \* 希望者多数の科目は、直接来所の方を優先します。
- \* 福山サテライトスペース開設科目を郵送申請される場合は、広島学習センターへ郵送してください。
- \* 郵送の場合、登録できなかった科目の授業料は、返金にかかる費用を差し引いた金額を返金いたします。

●○学生専用 Web システム(システム WAKABA)を活用しましょう○●

◆システム WAKABA の入り方



①放送大学ホームページ  
(<https://www.ouj.ac.jp/>)の「在校生の方へ」の中の「システム WAKABA(教務情報システム)」をクリックします。

②放送大学認証システム画面から ID とパスワードを入力しログインします。  
ログイン ID とパスワードは入学許可書に記載されています。  
ログイン ID とパスワードが不明な場合は、放送大学本部(☎043-276-5111)へお問い合わせください。

◆システム WAKABA の機能

キャンパスライフ

- 学内連絡(大学・学習センターからの連絡の確認)
- 各種届出・申請(様式をダウンロード)
- 学内 FAQ(学内のよくある質問と回答を掲載)
- セミナーハウス予約

授業サポート

- 授業連絡(履修中の科目・ゼミの教員からの連絡を参照)
- 資料室(授業・教材に関する各種資料をダウンロード)
- 質問箱(履修中の科目について教員へ質問を登録・回答を確認)



学内リンク

- Web 通信指導
- オンライン授業
- 放送授業のインターネット配信
- 単位認定試験問題・解答
- 面接授業(第1学期)のページ
- 面接授業(第2学期)のページ
- 新規開設科目印刷教材(試し読み)
- 放送大学自己学習サイト
- 看護師国家試験学習支援ツール
- 放送大学附属図書館
- 学習センター一覧
- 放送大学トップページ

教務情報

- 学生カルテ(学籍情報・履修情報・単位修得状況情報を確認)
- 変更・異動手続(各種情報の変更等を申請)
- 履修成績照会(履修した科目の成績を確認)
- 科目登録申請(次学期の科目登録申請や登録申請済みの科目の内容の確認)
- 継続入学申請(継続入学の登録申請)





●○放送教材郵送貸出サービス内容の一部変更について○●

2019年4月より、郵送による放送教材貸出本数及び日数を下記のとおり変更します。

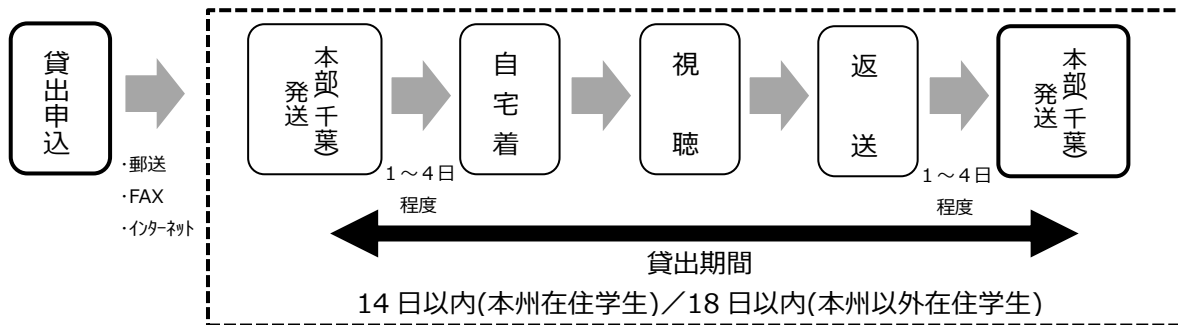
◎貸出し本数について

1回の申込みで送付できる本数 (変更前) 3本以内 → (変更後) **5本以内**

◎貸出し日数について

【本州在住学生】 (変更前) 9日以内 → (変更後) **14日以内**

【本州以外在住学生】 (変更前) 13日以内 → (変更後) **18日以内**



※本サービスは放送大学在学学生(休学中を除く)に限ります。詳細は「学生生活の栞」を確認してください。

☞学生生活の栞(大学院 P44~/教養学部 P33~)参照

## 2018年度卒業研究成果発表会を開催しました

2月17日(日)に広島学習センターにて、2018年度卒業研究履修者による成果発表会を開催しました。

【発表者及び研究テーマ】

所属(コース)	学生氏名	研究テーマ
心理と教育	時永 悦子	中年期の危機における回復過程
心理と教育	野間 了子	喪失体験の適応プロセスにコーピングとレジリエンス要因が与える影響について
社会と産業	中田 誠	災害復興まちづくりからみるこれからの地域コミュニティの在り方について
社会と産業	三輪 泰司	子ども自身の危機回避行動を促す支援に関する研究
人間と文化	高田 光枝	備後畳表の研究 - 日本の生活文化の変容 -

## 2020年度履修者向け 卒業研究ガイダンスを開催します

2020年度履修予定者向けの卒業研究ガイダンスを下記のとおり開催します。履修を検討されている方は是非ご参加ください。

- 日 時：6月30日(日) 10:00~11:30
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
- 申込先：広島学習センター事務室
- 内 容：放送大学本部教員による履修指導及び申請方法の説明

2020年度卒業研究履修者用の手引きは6月以降事務室にて配布予定です。

## 心理学関連講演会 / 心理学資格説明会

放送大学本部教員の森 津<sup>もり つたこ</sup>太子先生による心理学関連講演会及び認定心理士、公認心理師等の心理学資格説明会を開催します。

- 日 時：6月30日(日)  
講演会(テーマ未定※) 14:00~15:30  
資格説明会 15:45~16:45

※講演テーマは決まり次第広島学習センターホームページへ掲載します。

- 定 員：100名
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
- 申込先：広島学習センター事務局



### スケジュール (4月~7月)

#### 4月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

13日(土) 面接授業空席発表(12:00~)  
19日(金) 面接授業追加登録開始

#### 5月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1日(水) 夏季集中科目履修生出願受付開始  
看護師資格取得に資する科目  
(郵送:5月31日(金)本部必着/Web:6月3日(月)17:00)  
学校図書館司書教諭講習  
(郵送:6月7日(金)本部必着)  
14日(火) 通信指導受付開始(Web)  
21日(火) 通信指導受付開始(郵送)

#### 6月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4日(火) 通信指導提出期限(郵送:本部必着/Web:17:00)  
15日(土) 2019年度第2学期学生募集開始  
第1回募集:6月15日(土)~8月31日(土)  
第2回募集:9月1日(日)~9月中旬(予定)  
30日(日) 卒業研究ガイダンス/講演会・心理学資格説明会

#### 7月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	※26	27	28
29	30	31				

19日(金)~20日(土) 単位認定試験(大学院)  
21日(日)~28日(日) 単位認定試験(教養学部)

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) (※) 臨時閉所日

4月30日(火)、5月1日(水)、5月2日(木)も休日のため、学習センター・サテライトスペースは閉所いたします。ご注意ください。

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89  
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市露町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)  
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

MAIL / 学習センターHP

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>